

避難とは「命を守る行動」、防災を考えるきっかけに

4 月 1 5 日 (火)、今年度最初の避難訓練を実施しました。地震発生に続き火災発生という想定で、基本動作と各教室からの避難経路の確認を主な目的として行いました。

地震発生を知らせる放送の直後、各教室では、生徒たちが机の下に潜り込み、頭をしっかり守る「シェイクアウト」を意識した行動が見られました。

校長からは、「避難とは『命を守る行動』であること」と「K Y T」に関する話をしました。

話の概要は、「皆さんが学校に来ている間、学校は皆さんの命や体を預かっています。そのため先生たちは、皆さんの安全確保を最優先し、全員が無事かどうか確認する役割があります。また、「K Y T」これは「危険予知トレーニング」の略語です。地震を含んだ災害は、いつ、どこで発生するかわかりません。そのため、登下校中や学校以外の場所で災害が発生した際、どのような行動がとれるのか、自分や友達、家族を守るために何ができるのかを考える機会にしてください」でした。



津島市では、第 3 日曜日を「家庭防災の日」としてしています。そのため、4 月 2 0 (日) が、家庭防災の日にあたります。

今月のテーマは、「新入学・就職の季節です。新しい通学路や通勤路を、ご家族で歩いてみて、危険な所がないか確認してみましょう」です。

新しく通る場所はもちろん、毎日通っているところでも、防災の観点で歩いてみると新たな発見があるかもしれません。津島市のホームページに詳細が紹介されています。各家庭で、防災について考える機会にしてみてください。



【紹介したい言葉】青山学院大学の原晋監督が箱根駅伝で優勝した際に話した言葉

「一歩ではなく『半歩先』というのが私の口癖だが、壮大な目標を掲げるのではなく、手が届くところにある目標を着実に達成していくことが大事なのだ。その半歩が積み重なったとき、四年間でものすごい成長につながっていく」

※ 手の届く小さな目標を一つずつ達成することが、確実な成長への鍵となりそうですね。